

国際空手道連盟 試合規約 他 改定履歴

(国際空手道連盟極真会館 坂本派)

●2019年6月11日

【中学～一般・全日本大会／選抜用】

(試合時間)

①一般男子(予選) 本戦2分→延長2分→最終2分

(準々決勝以降) 本戦3分→延長2分→最終2分

②その他(予選) 本戦2分→最終2分

(準々決勝以降) 本戦2分→延長2分→最終2分

※体重判定はありません。最終延長戦で勝敗を決定します。

↓

①一般男子 本戦2分→延長2分→最終2分

(準決勝・決勝) 本戦3分→延長2分→最終2分

②中学・高校・一般女子 本戦2分→最終2分

(準決勝・決勝) 本戦2分→延長2分→最終2分

③上記以外 本戦1分30秒→最終1分30秒

(準決勝・決勝) 本戦1分30秒→最終1分30秒→最終1分

※体重判定はありません。最終延長戦で勝敗を決定します。

【小学生・全日本大会／選抜用】

(防具)

拳サポーターは極真、士衛塾、JKJO のロゴ入りを使用すること。

↓

拳サポーターは極真、士衛塾、JKJO ロゴ入りとする。伊ミ又はマシヤルワルト[®]製同一形状品を使用する場合、大会当日審判長の承認を得なければならない。

【中学～一般・初中級用】 新設

(試合時間)

本戦2分(マスト) 延長戦なし

(38歳以上の階級) 本戦1分30秒(マスト) 延長戦なし

【小学生以下・初中級用】 新設

(試合時間)

本戦1分30秒(マスト) 延長戦なし

(防具) 【小学生・全日本大会／選抜用】と同様とする。

●2017年6月18日

【中学～一般・地区地方大会用】

(防具)

P グローブは極真オープンフィンガーグローブ、又はマーシャルワールドタグ付き同形状のグローブとする。2016年10月掌側の仕様が変ったが、旧型・新型共に使用可。

↓

指定Pグローブは極真オープンフィンガーグローブ(黒革製)です。2016年に掌側の仕様が改良されたが新型・旧型共に使用可。マーシャルワールド又はJKJOタグが付いた黒革製・同一形状グローブの使用は認めるが、**白のJKJOグローブは甲側の形状が異なるため使用不可。**

【中学～一般・全日本大会用】

(防具)

P グローブは極真オープンフィンガーグローブ、又はマーシャルワールドタグ付き同形状のグローブとする。2016年10月掌側の仕様が変ったが、旧型・新型共に使用可。

↓

指定Pグローブは極真オープンフィンガーグローブ(黒革製)です。2016年に掌側の仕様が改良されたが新型・旧型共に使用可。マーシャルワールド又はJKJOタグが付いた黒革製・同一形状グローブの使用は認めるが、**白のJKJOグローブは甲側の形状が異なるため使用不可。**

●2016年12月7日

【中学～一般・地区地方大会用】

(防具)

ヘッドガードとPグローブは主催者が用意。その他の防具の貸出は行いません。

↓

ヘッドガードとPグローブは主催者用意。JKJO指定ヘッドガードのみ持込み可。その他防具の貸与なし。

女子胸ガードは、マーシャルワールド製品番CG32、伊製D-16、L-711、TT-28、又は同等の素材・形状のもの。女子アンダーガードは伊製SS-6、又は同等形状のもの。

↓

女子胸ガードは、IBKO製ディフェンス・チェスター、マーシャルワールド製CG32、伊製L-711、TT-28、又は同等素材・形状のもの。女子アンダーガードは、伊製SS-6又は同等素材・形状のもの。

Pグローブは極真オープンフィンガーグローブ、又はマーシャルワールドのタグがついた同形状のグローブとする。

↓

Pグローブは極真オープンフィンガーグローブ、又はマーシャルワールドタグ付き同形状のグローブとする。2016年10月掌側の仕様が変ったが、旧型・新型共に使用可。

テーピング類は大会医師の許可を得て行って下さい。

↓

テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたもののみ許可する。ハードテープ使用不可。

【中学～一般・全日本大会用】

(防具)

ヘッドガードとPグローブは主催者が用意。その他の防具の貸出は行いません。

↓

ヘッドガードとPグローブは主催者用意。JKJO指定ヘッドガードのみ持込み可。その他防具の貸与なし。

女子胸ガードは、マッシュワールト[®]製品番CG32、伊[®]製D-16、L-711、TT-28、又は同等の素材・形状のもの。

女子アンダーガードは伊[®]製SS-6、又は同等形状のもの。

↓

女子胸ガードは、IBKO製ディフェンス・チェスター、マッシュワールト[®]製CG32、伊[®]製L-711、TT-28、又は同等素材・形状のもの。女子アンダーガードは、伊[®]製SS-6又は同等素材・形状のもの。

Pグローブは極真オープンフィンガーグローブ、又はマッシュワールト[®]のタ[®]がついた同形状のグローブとする。

↓

Pグローブは極真オープンフィンガーグローブ、又はマッシュワールト[®]タ[®]付き同形状のグローブとする。2016年10月掌側の仕様が変わったが、旧型・新型共に使用可。

テーピング類は大会医師の許可を得て行って下さい。

↓

テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたもののみ許可する。ハードテープ使用不可。

【小学生用】

(防具)

ヘッドガードは主催者が用意します。その他の防具の貸出は行いません。

↓

ヘッドガードは主催者が用意するが、JKJO指定ヘッドガードのみ持込み可とする。その他防具の貸与なし。

女子胸ガードは、マッシュワールト[®]製品番CG32、伊[®]製D-16、L-711、TT-28、又は同等の素材・形状のもの。

女子アンダーガードは伊[®]製SS-6、又は同等形状のもの。

↓

女子胸ガードは、IBKO製ディフェンス・チェスター、マッシュワールト[®]製CG32、伊[®]製L-711、TT-28、又は同等素材・形状のもの。女子アンダーガードは、伊[®]製SS-6又は同等素材・形状のもの。

テーピング類に関する条項追加。↓

テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたもののみ許可する。ハードテープ使用不可。

●2015年4月19日

【中学～一般・地区地方大会用】

(判定)

技ありがある場合は、技ありを優先する。技ありがない場合は、ダメージを優先する。ダメージのない場合は、有効打を含めた手数・足数を優先する。有効打を含めた手数・足数が同じ場合は、気迫が勝っている方を勝ちとする。

↓

判定の優先順位は、①技あり ②ダメージ ③有効打 ④積極性 とする。

(防具)

女子胸ガードは、マッシュワールド 製品番 CG32、伊製 D-16、L-711 と同等の形状のもので硬質プラスチックでないもの。

↓

女子胸ガードは、マッシュワールド 製品番 CG32、伊製 D-16、L-711、TT-28、又は同等の素材・形状のもの。

【中学～一般・全日本大会用】

(判定)

技ありがある場合は、技ありを優先する。技ありがない場合は、ダメージを優先する。ダメージのない場合は、有効打を含めた手数・足数を優先する。有効打を含めた手数・足数が同じ場合は、気迫が勝っている方を勝ちとする。

↓

判定の優先順位は、①技あり ②ダメージ ③有効打 ④積極性 とする。

(防具)

女子胸ガードは、マッシュワールド 製品番 CG32、伊製 D-16、L-711 と同等の形状のもので硬質プラスチックでないもの。

↓

女子胸ガードは、マッシュワールド 製品番 CG32、伊製 D-16、L-711、TT-28、又は同等の素材・形状のもの。

【小学生用】

(判定)

技ありがある場合は、技ありを優先する。技ありがない場合は、ダメージを優先する。ダメージのない場合は、有効打を含めた手数・足数を優先する。有効打を含めた手数・足数が同じ場合は、気迫が勝っている方を勝ちとする。

↓

判定の優先順位は、①技あり ②ダメージ ③有効打 ④積極性 とする。

(防具)

女子胸ガードは、マッシュワールド 製品番 CG32、伊製 D-16、L-711 と同等の形状のもので硬質プラスチックでないもの。

↓

女子胸ガードは、マッシュワールド 製品番 CG32、伊製 D-16、L-711、TT-28、又は同等の素材・形状のもの。

●2014年12月17日

【中学～一般・地区地方大会用】

(防具)

中学生のヘッドガード装着条件を変更。

ヘッドガード装着任意

↓

前網有ヘッドガード装着義務。

【中学～一般・全日本大会用】

(防具)

中学生のヘッドガード装着条件を変更。

ヘッドガード装着任意

↓

前網有ヘッドガード装着義務。

【小学生用】

(防具)

表記の仕方を修正。

ヘッドガードに(前網有)を追加。

●2014年7月23日

【小学生以下・前網有ヘッドガード】

(防具)

拳サポーターの指定品に、士衛塾ロゴを追加。

●2014年1月15日

【小学生以下・前網有ヘッドガード】

(技あり)

③前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。

↓

③前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。

審判員の判断により、下段突きが無くても技ありとすることもある。

【小学生以下・前網有ヘッドガード】

【中学～一般・ヘッドガード任意・前網無】

【中学～一般・全日本用】

(反則)

①手、肘による顔面及び首への攻撃

↓

①手、肘による顔面、首、のどへの攻撃

(失格)

②審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。

判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」、相手選手に対し「効いてる」「倒せ」等の礼節を欠いた応援は禁止。

↓

②審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。

「雄叫び」「ガッツポーズ」、相手選手に対する「効いた」「倒せ」等の応援は失格になる可能性があります。

●2013年5月27日

【小学生以下・前網有ヘッドガード】

(技あり)

③前蹴り・下段蹴りで相手選手の体をきれいに宙にうかせ、転倒した瞬間に下段突きを入れた場合。

↓(言い回しを中学生以上の試合規約と統一し、以下の通り修正)

③前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。

(以下の条項追加)

④胴廻し回転蹴りをかわし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。

【中学～一般・ヘッドガード任意・前網無】

(技あり)

②足掛け技などにより相手をきれいに転倒させ瞬時に下段突きを決めた場合、又は胴廻し回転蹴りをかわし瞬時に下段突きを決めた場合

↓(言い回しを他の試合規約と統一し、以下の通り②と③に分けて修正)

②前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。

③胴廻し回転蹴りをかわし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。

【中学～一般・全日本用】

(技あり)

②足掛け技などにより相手をきれいに転倒させ瞬時に下段突きを決めた場合、又は胴廻し回転蹴りをかわし瞬時に下段突きを決めた場合

↓(言い回しを他の試合規約と統一し、以下の通り②と③に分けて修正)

②前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。

③胴廻し回転蹴りをかわし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。

●2013年3月10日

【小学生以下・前網有ヘッドガード】

(反則) 下記項目を追加

⑩相手の技を殺す目的で、むやみに相手に体を寄せること。

【中学～一般・ヘッドガード任意・前網無】

(反則) 下記項目を追加

⑧相手の技を殺す目的で、むやみに相手に体を寄せること。

【中学～一般・全日本用】

(反則) 下記項目を追加

⑧相手の技を殺す目的で、むやみに相手に体を寄せること。

【審判の手引き】

(その他) 下記項目を追加

相手の技を殺す目的で、むやみに相手に体を寄せた場合、注意が与えられる。

●2012年6月14日

【小学生以下・前網有ヘッドガード】

(技あり)

③前蹴り・下段蹴りで相手選手の体をきれいに宙にうかせ転倒させた場合、下段突きを入れなくても技ありとする。

↓ (以下に修正)

③前蹴り・下段蹴りで相手選手の体をきれいに宙にうかせ、転倒した瞬間に下段突きを入れた場合、技ありとする。

(減点) 条項を追加

- ①注意を2回与えられたとき。
- ②悪質な反則を行ったとき。
- ③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。
- ④減点2で失格となる。

【中学～一般・ヘッドガード任意・前網無】

(減点) 条項を追加

- ①注意を2回与えられたとき。
- ②悪質な反則を行ったとき。
- ③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。
- ④減点2で失格となる。

【中学～一般・全日本用】

(減点) 条項を追加

- ①注意を2回与えられたとき。
- ②悪質な反則を行ったとき。
- ③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。
- ④減点2で失格となる。

【審判判定基準 (図解)】

- ・ 図解に減点1、減点2 を追加する。
- ・ 減点1の後に(注意2)、減点2の後に(注意4・失格)を入れる。

【審判の手引き】

(反則について)

1 諸注意

④故意又は悪質な反則は、失格（審議して退場）もありうる

↓（以下に修正）

④故意又は悪質な反則は、審議の上、減点、または失格（退場）もありうる

2 反則のカウント

④注意の言い方

注意 1 → 注意 2 → 注意 3 → 注意 4(失格)

※「減点」は使わない

↓（以下に修正）

注意 1 → 減点 1 (注意 2) → 注意 3 → 減点 2 (注意 4・失格)

●2013年6月30日

【判定基準図解】

(注意差 2 の場合の判定基準)

注意差 2 の時は基本的に負けだが、8 : 2 以上の試合内容で引き分けもある

↓（以下に修正）

注意差 2 の時は基本的に負けだが、8 : 2 以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け。

(技ありと注意 3 がある場合の判定基準)

技ありがあるので基本的に勝ちだが、8 : 2 以上の試合内容で引き分けもある。

↓（以下に修正）

技ありがあるので基本的に勝ちだが、8 : 2 以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け。